



食事のマナーについて

潮見小学校では、「かかわる つながる つくりだす 児童の育成」という研究主題のもと、特別活動を中心に学習過程の明確化や学習環境の充実を図っています。校内研修の一環として研究授業を実施していますが、今回は2年生が「食事のマナー」という題材で学級活動の授業を行いました。子どもたちが、日々の食事のマナーについて振り返りながら、自分なりの課題をもって、よりよい食べ方についてその改善策を考えるというものです。

まず、教師が提示した写真を基にして、食事のマナーとして何がよくて何が悪いのかを見付け、その上で、どう改善すればよいかを2人組で考えました。「後ろを向いて話し掛けている、食べ残しをしている、食器をもたずに食べている」というようなことに子どもたちは気づき、それを直していくことが、よりよい食べ方につながるということを理解しました。



次に、自分の食事のマナーについて振り返りました。振り返る視点としては、「姿勢」「食べ方」「声・話」「片付け方・気持ち」の大きく4つです。「背中を丸めて食べていたので、背筋を伸ばして食べたい、ご飯粒が残っていたので残さず食べたい、大声で話していたので静かに食べたい」というような考えをもつことができました。作ってくれた人に対して感謝の気持ちをもつことの大切さについて考える子もいました。

最後に、自分のめあてを決めてそれを達成するために、1週間頑張ることを友達と確認したり、今日の授業を振り返ったりしながら授業を終えました。

2年生にとって、自分自身の食事のマナーを振り返ることは難しかったと思いますが、提示された資料を基にしながらよく考え、自分の意見を積極的に発表しました。潮見小学校には、栄養教諭が配置されているので、授業の中で専門的な立場から正しい食事のマナーについて子どもたちに伝えることができました。

2年生の保護者の皆様には、事前に食事に関するアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。授業の中でアンケート結果を活用させていただきました。

2年生の子どもたちは、家庭での実践も大事になりますので、引き続き食事のマナーの定着についてご協力をお願いいたします。

「食」は命や体の成長に関わる大事な事柄です。そして、6月は、食育月間です。学校では、給食を中心に正しい食事のマナーについて指導をしていますので、ご家庭でも、よりよい食べ方についてお話をしていただけたらと思います。

税租教室でしっかり話を聞きました

松山法人会女性部会の皆様をお招きして、6年生を対象に租税教室を行いました。税金の種類や税金の使われ方などについて教えていただきました。6年生は、社会科で税について学習をしています。税金がなければ、道路や学校、消防や警察などみんなが必要とするものをつくることはできません。みんながよりよく生活するための社会福祉も充実したものになりません。そういったことを改めて理解することができました。

松山法人会女性部会の方から、「6年生はしっかり聞いていたので、大変話しやすかった。」という言葉をおいただきました。「よく聞く」ということは「相手を思いやること」につながります。6年生がそのような態度で話を聞くことができたのは、大変立派なことです。

